11月

No.161

お父さん・お母さん・生徒さんへ・・・

山本学習塾からのお知らせ

R7 年 10 月 25 日

最近は秋を通り越して冬を感じるようになりました。家で過ごす時間が長くなってきますね。この時間を利用して、読書や映画鑑賞、料理など新たな楽しみを見つけてみてはいかがでしょう？「知識と経験は未来への投資」という言葉があります。時間の使い方であなたの未来が大きく変わってきます。自分にとって有意義な楽しみってどんなことだろうといろいろ考えてみましょう。楽しいことを発見する喜びは、心を豊かにしてくれますよ。

☆10 月の予定☆

11/3（月）文化の日：休塾
11/8（土）
　～14（金）の授業日：塾内テスト
11/24（月）勤労感謝の日：休塾
　期末テスト前：テスト対策

期末テストの準備を！

中学生の皆さんは 11 月末には期末テストがあります。直前で焦らないように普段から少しずつ頭に入れておきましょう。中３生は志望校決定のための最も重要なテストになることを肝に銘じておこう。

★今村先生のつぶやき★

少し前まで「はい論破！」という言葉がよく聞かれました。世の中には、相手を言いくるめたり、騙したりする話法がたくさんあります。今回は、SNS やディベートなどでよく使われる技術や詭弁（きべん）をいくつか紹介しましょう。

〇ストローマン論法：相手の主張を都合よくねじ曲げて引用する方法。ひろ〇きがよく使うことでも有名ですね。例えば「子どもにはしっかり勉強させるべき」という意見に「勉強ばかりで一切遊ばせないのはよくない」と、相手が全然言っていないことを言ったことにして反論する手口です。詭弁の基本なので、言いくるめられないよう注意しましょう。

〇誤った二分法：物事を「賛成か反対か」など、両極端な二択だけで判断する論法。「あの子は私の意見に反対したから、私たちの敵だよね」というように、まるで選択肢が白か黒しかないように誘導されてしまうので注意です。

〇論点のすりかえ：先生に怒られた生徒が「俺よりもっと悪いやつを注意しろよ」と言うように、話の焦点をずらして反論したように見せる手法です。一見正論に見えますが、ただ論点をずらしているだけ。賢い人にはすぐにバレます。

〇早まった一般化：「私のまわりの男の子はケンカばかり。だから男はみんな暴力的だ」など、少ない例から全体を決めつける論法です。SNS でよく見る「だから最近の〇〇は…！」といった“主語の大きい”発言も同じです。

〇合成の誤謬（ごびゅう）：「あの人は豪邸に住んでいる＝幸せに違いない」と、一部の特徴だけから全体を判断すること。裕福そうに見せているだけで実は・・・という話は多いです。見た目に踊らされないようにしましょう。また、自分に都合のよいデータだけを集め、都合の悪いものを意図的に隠して見せられることもあります。ネットでは多くのインフルエンサーは、見てほしいことだけを公開しています。物事の一面だけですべてを鵜呑みにしないように。

〇すべり坂論法：「AI が発展すると人間は仕事を失い堕落する→だから AI を進化させるべきでない」と、最初の前提を極端に拡大解釈して、まるで坂道を転げ落ちるように極端な方向に結論づける方法です。

〇トートロジー（同語反復）：いわゆる「小泉構文」です。同じ内容を繰り返してもっともらしく聞かせる技法。他にも「よそはよそ、ウチはウチ」なども有名ですね。うまく使えば印象的な言葉になりますが、中身がないことが多いです。

　世の中の「”頭が良い”悪人たち」はさまざまな言葉のテクニックであなたをだまそうとしてきます。大切なのは、「正しい知識を持って冷静に考える力を身につけること」です。逆にこれらの技術は、あなたが上手に使うと相手への説得や、口喧嘩などでは絶大な効果を発揮します。が、あまり論破ばかりしていると、友達を減らしてしまいますよ。